

HARUMI FLAGエリア内のライフスタイル型商業施設 「三井ショッピングパーク ららテラス HARUMI FLAG」に名称決定 2024年春開業予定・一部店舗を先行発表

三井不動産株式会社(所在:東京都中央区 代表取締役社長 植田俊)は、晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業(以下、本事業)にて開発を推進している、HARUMI FLAGエリア内のライフスタイル型商業施設の名称を「三井ショッピングパーク ららテラス HARUMI FLAG」に決定したことをお知らせいたします。開業は2024年春を予定しております。

本事業は東京2020オリンピック・パラリンピックの大会選手村として活用後、約13haの広大な土地に、5,632戸の分譲住宅・賃貸住宅と商業施設の合計で24棟を建築するほか、保育施設、介護住宅、シェアハウスなどを整備し、多様なライフスタイルを受け入れる人口約12,000人となる街づくり計画です。当社は、本事業に特定建築者(※1)として参加しており、HARUMI FLAGエリア内の商業施設の開発を推進しております。

当施設は注目の集まるHARUMI FLAG内の中心に立地し、“新しい街”からはじまる“新しい日常”を創造・提供するライフスタイル型商業施設をコンセプトに、HARUMI FLAG居住者をメインターゲットとして、晴海エリアの生活を支える商業施設となります。また、本施設1階には、TEAM JAPANゴールド街づくりパートナーとして三井不動産株式会社が活動を支援している公益財団法人日本オリンピック委員会(以下、JOC)が、当社グループ会社の三井不動産レジデンシャル株式会社協力のもと、オリンピック・ムーブメントの発信拠点「日本オリンピックミュージアム」のサテライトとして、「TEAM JAPAN 2020 VILLAGE」を設置予定であり、スポーツを通じて交流や賑わいを創出していきます。

施設コンセプト 「“新しい街”ではじまる“新しい日常”」

東京2020大会を経て、新たに生まれる街「HARUMI FLAG」に、晴海エリアの“新たな日常”を支えるライフスタイル型商業施設として、街の賑わいを創出していく施設を実現します。



<メインエントランス 外観CG>



<サブエントランス 外観CG>

本リリースのポイント

1. HARUMI FLAG内の商業施設名称が、ライフスタイルパークシリーズ「ららテラス」ブランドを冠した、「三井ショッピングパーク ららテラス HARUMI FLAG」に決定。2024年春に開業予定。
2. 約1万㎡の店舗面積に、晴海エリアの日常生活を支え、スーパーマーケットや保育園、ウェルネス施設など、多様なライフスタイルに対応する約40店舗が出店。一部店舗を先行発表。

※1: 特定建築者とは、市街地再開発事業において整備する建築物を、施行者(東京都)に成り代わり民間事業者が建築できる制度で参画した事業者

1. 「三井ショッピングパーク ららテラス HARUMI FLAG」に名称決定

■立地の特長

HARUMI FLAGは、5つの街区で構成され、分譲住宅・賃貸住宅、商業施設の計24棟から構成されます。交通結節点として「マルチモビリティステーション」や、次世代のエネルギーを供給する「水素ステーション」などが設けられるほか、「晴海ふ頭公園」の再整備や、小中学校など公共施設も整備される計画です。

当施設はHARUMI FLAG 内の直径約110mもの街の中心となる“CENTER CORE”に位置し、開放的な庇空間にて、多くの人を迎え入れるゆとりのあるエントランス空間を形成し、街の賑わいと回遊性の創出を図ります。



■施設名称の考え方、コンセプト

本施設は東京オリンピック・パラリンピック2020大会選手村として活用され、リノベーション後には、地域住民の生活を支える商業施設として新たに生まれ変わります。このようなコンセプトのもと、三井不動産が展開するライフスタイルパークシリーズ「ららテラス」として、「三井ショッピングパーク ららテラス HARUMI FLAG」と施設名称を決定しました。東京2020大会選手村レガシーや、新たに整備される晴海ふ頭公園など、街のポテンシャルを活かし、地域住民の交流・賑わいの拠点として活気ある街づくりに貢献いたします(※2)。

また、当施設の開業によって、近傍の「三井ショッピングパーク アーバンドック ららぽーと豊洲」や、「ダイバーシティ東京プラザ」と共に連携を図ることにより、同エリアの更なる魅力を高めてまいります。

※2: 三井不動産株式会社はTEAM JAPANゴールド街づくりパートナーです。

<参考>ライフスタイルパークシリーズ「ららテラス」とは

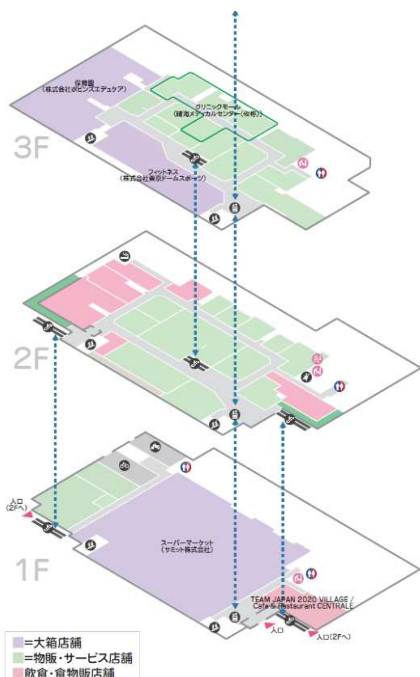
「街の賑わい」と「日常生活の彩り」をコンセプトに、スーパーや生活雑貨店などを核に、ファッションやレストラン、地域に必要とされる医療やサービス機能などを集積し、利便性の高い商業施設として、都市近郊生活者に洗練されたライフスタイルの提供を目指しています。

現在、「三井ショッピングパーク LaLaテラス南千住」(東京都荒川区、2004年4月開業)、「三井ショッピングパーク ららテラス 武蔵小杉」(神奈川県川崎市、2014年4月開業)を運営しています。



2. 地域住民の多様なライフスタイルに対応する約40店舗が出店

スーパーマーケットや保育園、フィットネスジムなど、デイリーニーズに応じた約40店舗を揃え、地域のコミュニティ拠点として魅力あふれる商業環境を創出し、地域住民の生活を支えます。



3F “ウェルビーイング”

自分磨きや学びをサポートする専門性の高いスクールや健康やサービス、クリニックなどを導入

2F “デイリーセレクト”

毎日の生活を支えるとともに、暮らしの中に彩りと潤いを与えてくれるサービス・物販・飲食店舗を導入

1F “デイリーマーケット”

スーパーマーケットを核として、生活利便性の高い物販店舗やサービス店舗を提供するほか、晴海エリア最大規模の「食」のフロアを展開

出店予定の店舗を一部先行発表

■ サミットストア <1階>



地域の皆様のくらしに寄り添うお店として、食事の材料や食事そのもの、日常生活に必要な非食品も併せて、豊富に取り揃えてお待ちしております。
日々のお買い物をもっと便利に、もっと楽しくするお店を目指します。

■(仮称) ポピンズナーサリースクール晴海フラッグ2 <3階>



定員153名の中央区認可保育所として2024年4月開園を予定しています。独自の教育(エデュ)と保育(ケア)を融合させた「エデュケア」で大切な乳幼児期を育みます。
また、PORT VILLAGEにも保育所を開設予定です。お子様たちの笑顔で、街に賑わいをもたらします。

■(仮称) 東京ドームスポーツ「フィットネスクラブ」 <3階>



TOKYO DOME CITY内「フィットネスクラブ東京ドーム」のジム・スタジオ型クラブが晴海にオープンします。
「日常にフィットネスライフを」をコンセプトに“MODERN Style”なフィットネス空間を提供し、様々な目的に対応できるトレーニングジムや、多彩なプログラムを展開するスタジオ2面を有します。また、お子様の成長をサポートする様々なスタジオキッズスクールも展開予定です。

■(仮称) 晴海メディカルセンター <3階>

内科、小児科、婦人科、耳鼻科の4クリニックと調剤薬局が入居する利便性の高い医療モールです。幅広い年代の方々にご利用いただける診療科目を揃えており、薬局では薬はもちろん、健康についてもお気軽にご相談いただけます。



■JOCによる日本オリンピックミュージアムのサテライト「TEAM JAPAN 2020 VILLAGE」 <1階>

東京2020オリンピック選手村跡地に、いつでもオリンピックを感じ、楽しんでいただける場所がオープン。東京2020オリンピックの「聖火リレー用トーチ」をはじめ、アスリートの貴重なアイテムに溢れる展示の他、東京2020オリンピック選手村でも提供されたGAP認証食材※を活用した料理を「Cafe & Restaurant CENTRALE(カフェ アンド レストラン セントラーレ)」で楽しむことができます。

※GAP認証食材とは、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉に配慮した農場管理を行う農場に与えられる認証制度です。

※三井不動産株式会社はTEAM JAPANゴールド街づくりパートナーです。



【添付資料①】「三井ショッピングパーク ららテラス HARUMI FLAG」の計画概要

所在地	東京都中央区晴海五丁目505番
施設名称	三井ショッピングパーク ららテラス HARUMI FLAG
敷地面積	約11,300㎡(約3,400坪)
構造規模	鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造) 地上3階、地下1階、塔屋1階
延床面積	約19,800㎡(約6,000坪)
店舗面積	約10,100㎡(約3,060坪)
店舗数	約40店舗
駐車台数	約100台
交通	都営地下鉄大江戸線「勝どき」駅 徒歩16分
スケジュール	着工: 2018年7月(本体着工)、2022年10月(内装着工) 竣工: 2023年8月(予定)
設計会社	基本設計: 株式会社日建設計・三井住友建設株式会社一級建築士事務所 実施設計・監理: 三井住友建設株式会社一級建築士事務所
施工会社	三井住友建設株式会社東京建築支店
環境デザイン	株式会社ランドアートラボ
運営・管理	三井不動産商業マネジメント株式会社

【添付資料②】「HARUMI FLAG」の計画概要

＜東京2020オリンピック・パラリンピック選手村として活用後、新築住宅・商業施設として完成する街＞

東京都施行による晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業(以下、本事業)における特定建築者11社により、開発区域のタウンネームを「HARUMI FLAG」として開発を進められています。約13haの広大な土地に、5,632戸の分譲住宅・賃貸住宅と商業施設の合計で24棟を建築するほか、保育施設、介護住宅、シェアハウスなどを整備し、多様なライフスタイルを受け入れる人口約12,000人となる街づくり計画です。官民連携のもと、街区と道路・公園などが一体的に整備され美しい街並みを誇るとともに、これからの都市生活のフラッグシップとなることを目指した、選手村レガシーとしての新しい“街”となります。



	PORT VILLAGE	SEA VILLAGE	SUN VILLAGE	PARK VILLAGE	商業施設
主な用途	賃貸住宅(シニア住宅、シェアハウス含む)、店舗、保育施設、介護住宅	分譲住宅	分譲住宅、店舗	分譲住宅、店舗	商業施設
所在地	東京都中央区晴海五丁目501番(地番)	東京都中央区晴海五丁目502番(地番)	東京都中央区晴海五丁目503番(地番)	東京都中央区晴海五丁目504番(地番)	東京都中央区晴海五丁目505番(地番)
敷地面積	26,300.14㎡	23,633.20㎡	37,441.27㎡	35,175.79㎡	11,355.86㎡
棟数	4棟	5棟	7棟	7棟	1棟
住戸数	1,487戸	686戸	1,822戸	1,637戸	—
階数	(板状棟)地上15～17階、地下1階	(板状棟)地上14階～18階、地下1階	(板状棟)地上14階～18階、地下1階 (タワー棟)地上50階、地下1階	(板状棟)地上14階～18階、地下1階 (タワー棟)地上50階、地下1階	地上3階、地下1階
駐車場台数	312台	313台	831台	758台	104台

【添付資料③】位置図



【添付資料④】配置図



【添付資料⑤】三井不動産のライフスタイルパーク型商業施設(2023年4月時点)

埼玉

■三井ショッピングパーク ララガーデン川口



■三井ショッピングパーク ララガーデン春日部



■ステラタウン

大阪

■ベルファ都島ショッピングセンター

神奈川

■三井ショッピングパーク ららテラス 武蔵小杉



■新川崎スクエア

■トレアージュ白旗

東京

■三井ショッピングパーク LaLaテラス南千住



■三井ショッピングパーク ららテラス HARUMI FLAG

2024年春開業予定

宮城

■三井ショッピングパーク ララガーデン長町



千葉

■(仮称)南船橋駅前商業施設計画 2023年冬開業予定

【添付資料⑥】 三井不動産グループのSDGsへの貢献について

https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわちESG経営を推進しております。当社グループのESG経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021年11月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

* 本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における3つの目標に貢献しています。

目標 3 すべての人に健康と福祉を
目標 4 質の高い教育をみんなに
目標 11 住み続けられるまちづくりを



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

<リリース画像のダウンロードサイト>
<https://www.mitsuifudosan.co.jp/press/>